



## お宅の防犯対策 大丈夫ですか？

### 知ってますか？

### 泥棒の心理



例年、この時期、「空き巣」や「忍込み」等の泥棒が増加します。泥棒の心理を知って防犯対策をしましょう。

泥棒のほとんどは、「プロ」です。捕まることなく目的を達成するため、「安全性」「容易性」「確実性」を考えて、侵入するターゲットを選びます。

◇ 安全性：人目につかずに犯行できるか、捕まらないか。

◇ 容易性：簡単に侵入できるか。確実性：確実に現金等が手に入るか。

①★ **知っておくべき防犯対策！**

「見せる防犯」で対策を  
泥棒は、侵入しやすいかどうか、不在か在宅か、現金がありそうかどうか、下見をしています。建物の中に入られる前に、防犯カメラ、センサーライト、防犯砂利などの「見せる防犯」で対策を。

② 鍵かけが一番の対策

泥棒の侵入口で一番多いのは「玄関」、次に多いのは「勝手口・窓」です。そして、ほとんどの泥棒が「無締まり箇所（鍵が掛かっていないところ）」から侵入しています。「ちよつと、そこまで」であっても、必ず鍵掛けを。

③ 泥棒があきらめてしまう対策を

泥棒は、侵入に五分以上かかると、七〇%が犯行をあきらめます。

二重ロック・防犯ガラス・防犯フィルムなど、泥棒があきらめてしまう対策を。

④ 泥棒は、光と音が嫌い。

「空き巣」や「忍込み」等の住宅侵入窃盗を防止するため、家の周囲を明るく見通し良くするとともに、家の周囲に踏むと大きな音がする防犯砂利を敷くなど工夫を。

## 滋賀県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 (6月20日～7月19日)

### 薬物乱用はハイリスク・ノーリターン

「ハイリスク・ノーリターン」それが薬物乱用の実態です。

過去には、元プロ野球選手が覚せい剤に手を出し逮捕された事件や、滋賀県の中学校教諭や京都府の現役中学生等が、覚せい剤や危険ドラッグ、大麻等に手を出して逮捕され、世間の耳目を集めたことがありました。これは他人事ではありません。危険ドラッグや覚せい剤等に一度手を出せば、破滅への泥沼が待っています。

薬物の誘いを受けたら、勇気を持って



■ 話を打ち切り

■ さっぱり断り

■ すぐに立ち去る



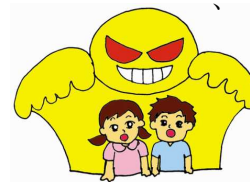
ようにしましょう

■ 触まれる心とからだ

危険ドラッグや覚せい剤の影響で、恐怖感にかられたり、妄想に襲われたり、また錯乱状態になるなどして、重大な交通事故や傷害事件・殺人事件などを起こしてしまうことがあります。

### 子どもの安全を守るのは保護者の責任です

先月(五月)七日、新潟市内の住宅街で、小学校二年生の女の子が学校からの帰り道に連れ去られ、被害されるという痛ましい事件が発生しました。



子どもの安全を守る基本は、「子どもから目を離さない」「子どもの手を離さない」ですが、これからの季節、子どもが外で活動することが多くなります。

そこで、次の「子どもを犯罪から守る七か条」について子どもと一緒に考え、自分で自分を守る子どもに育てましょう。

第一条 「気をつけて」の中身をしっかりと伝えましょう！

第二条 「子どもの個人情報を守れ！」

第三条 一人きりになる時間・場所を把握せよ！

第四条 大声を出す訓練をせよ！

第五条 防犯ブザーを使いこなせ！

第六条 シミュレーションを繰り返し！

第七条 親子で「安全作法」を身につけよ！

「子どもを犯罪から守る七か条」の詳細については、当協会ホームページに掲載の「防犯対策特集No.30-3」に記載しています。

### ★ 賛助会員の募集

当協会では、賛助会員を募集しています。会員の皆様には、賛助会員の証のほか機関誌等の各種資料をお届けさせていただきます。

滋賀県防犯協会



賛助会員の証